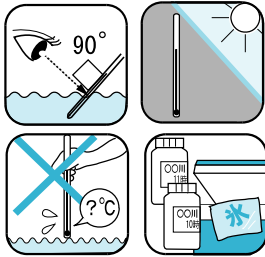


測定編

【採水現場での測定】 調査月日・調査時刻・天気を調査票に記入



採水現場の気温・水温の測定と記入

- ◆ 温度計で温度を読む場合、視線は温度計に直角。
- ◆ 気温は日陰で測定。
- ◆ 水温は温度計を試水に入れた状態で測定。 → **詳細**
- ◆ 測定会場を利用する場合、採水後、可能な限り早めの測定を心掛けましょう。可能な場合は、試水を低温で運びましょう。

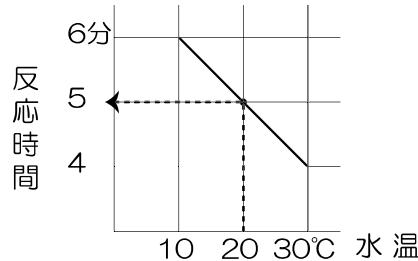
【採水現場または測定会場での測定】



① 試水の温度(水温)を測定し、反応時間を決定します。

- ◆ 反応時間はストップウォッチなどを使えるだけ正確に測定。
- ◆ 試水の温度と気温(室温)が等しくなっている方がよい。

例:水温20℃なら反応時間は5分



【水温と反応時間 早見表】

水温	反応時間
10℃	⇒ 6分00秒
15℃	⇒ 5分30秒
20℃	⇒ 5分00秒
25℃	⇒ 4分30秒
30℃	⇒ 4分00秒

(株)共立理化学研究所のパックテスト取扱説明書より改編



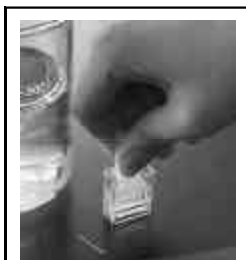
② パックテストCOD(D)のポリチューブ先端のライン(黄緑色)を抜き取ります。

- ◆ ライン以外の部分はできるだけ触れないようにします。



③ パックンにスポイトを用い試水を目盛りまで(約1.5mL)採ります。

- ◆ スポイトとパックンは試水ごとに3回を目安に共洗いします。 → **詳細**



④ ポリチューブの空気を抜き、試水を全て吸い上げます。

⑤ 反応時間の測定開始。

- ◆ ポリチューブの中で試水をゆっくり振り混ぜます。
- ◆ 標準色の上のせて待ちます。

注意!

パックテストCOD(D)の中身はチューブの外に出さないでください!特に目に入ると危険です。使用後にラインを元通りに差し込むと液が漏れません。



⑥ 反応時間終了。すぐ比色します。

→ **詳細**

⑦ 測定値を調査票に記入します。

※ 同じ試水で3回測定します

3回の測定が終わりましたか?

はい

いいえ



お疲れ様でした。これで調査は終了です。 → **詳細**

